

## 第4次師団訓練検閲

師団（師団長 山根陸将）は、令和2年12月17日（木）から21日（月）までの間、日出生台演習場（大分県）において、第3特科隊（隊長 高倉1佐）に対し、令和2年度第4次師団訓練検閲を実施した。

本検閲は、第3特科隊に対して師団の陣地防御の場における努めて実地的な環境において実弾射撃による訓練成果を評価するとともに、じ後の進歩向上を促すことを目的として行われた。

訓練開始式において、検閲官（師団長 山根陸将）は「所望の精度と速度を得られる射撃を追求せよ。」

「陣地変換を整斉・円滑に実施して火力戦鬪の継続性を確保せよ。」「安全管理を徹底せよ。」の3点を要望するとともに、「部隊長を核心として、本検閲までに積み上げてきた練成の成果を遺憾なく発揮することを期待する。」と訓示した。

第3特科隊は、普段なかなか使用することのない演習場において隊長要望事項である「いつも通りやれ。」を具現して師団の作戦遂行に最大限寄与するため、整斉と陣地変換を行いつつ継続した火力戦鬪を実施した。

本検閲では、大寒波の影響により初雪の降る酷寒の中で実施されたが、第3特科隊は安全管理に留意し所望の成果を収め、任務を完遂した。



訓練開始式 第3特科隊による受閲準備完了報告



第3特科隊長（高倉1佐）



155mmりゅう弾砲FH-70による実弾射撃



陣地変換



弾薬の装填



射撃指揮所からの射撃命令



コリメータ照準